2016年度 事業報告書

一般社団法人 CSV開発機構

2016年4月１日～2017年3月31日

CONTENTS

設立の趣旨と目的／役員 01

会員／事業内容 02

年間活動計画 03

2016年度　主要活動状況 05

1年間の活動記録

[1] 全体セッション 07

[2] 合同セッション 09

[3] 各種プロジェクト

おもてなし規格認証制度 10

千葉商科大学・ソーシャる制作 10

CSV大学 in 弘前 11

弘前市・りんご産業イノベーション 13

静岡市・CSVまちづくり会議 13

[4] 広報・啓発活動 14

Copyright CSV Business Development Organization, 2017

一般社団法人CSV開発機構の設立の趣旨と目的

一般社団法人CSV開発機構は、CSVをテーマとした「地域の公益と企業益を両立させるCSVサーベイランス研究会」、その産官学連携での発展形である「CSVサーベイランスネットワーク」での活動を踏まえ、CSVによる事業創造・社会課題の解決に向けて本格的な活動を推進するために発足した法人です。

私たちCSV開発機構は、高齢化対応・地域の活性化などの社会課題、気候変動などの環境問題など、さまざまな社会・環境課題を抱える現代社会において、企業がCSR（Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任）やISO26000の理念を踏まえつつ、本来の事業展開力を活かした新しいビジネスモデルによって、より良い社会、持続可能な未来を創造していこうというCSVを事業化することを目的とし、その普及と推進に資するものです。

役員　（2017年3月31日現在）

理事長	赤池　学	
副理事長	水上　武彦	
専務理事	小寺　徹	
理　事	大北　博一	（キリン株式会社）
	藤中　隆一	（株式会社乃村工藝社）
	反町　雅史	（大和リース株式会社）
	長谷部　直人	（東京書籍株式会社）
	八田　泰秀	（日本ユニシス株式会社）
	平川　健司	（株式会社電通）
	原　以起	（ヤマハ発動機株式会社）
	門脇　伊知郎	（株式会社JTBコーポレートセールス）
事務局長	永山　均	（株式会社a2media）
監　事	佐野　惣吉	（住友林業株式会社）
顧　問	渋澤　寿一	

Copyright CSV Business Development Organization, 2017

会員（2017年3月31日現在）

（一般会員）

株式会社a2media	日揮株式会社	川崎重工業株式会社
日本ユニシス株式会社	キリン株式会社	株式会社乃村工藝社
J&J事業創造株式会社	ヤマハ発動機株式会社	株式会社JTBコーポレートセールス
住友林業株式会社	株式会社LIXIL	大和リース株式会社
株式会社エクスチェンジ	株式会社電通	富国生命保険相互会社
東京書籍株式会社	大日本印刷株式会社	株式会社冨山
コドモエナジー株式会社	株式会社伊藤園	キャスレーコンサルティング株式会社
株式会社ジェイアール東日本企画		フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
株式会社日本能率協会総合研究所		株式会社JTBコミュニケーションデザイン
凸版印刷株式会社	株式会社日立製作所	コクヨ株式会社
すてきナイスグループ株式会社		株式会社サーベイリサーチセンター

（特別会員）

青森県庁	弘前市	千葉商科大学
名古屋市（東京事務所）		公益財団法人科学技術広報財団
特定非営利活動法人キッズデザイン協議会		特定非営利活動法人日本ジビエ振興協議会
大東文化大学経営研究所		大阪府（公民戦略連携デスク）

事業内容

① CSVによる社会課題解決を進めるために必要なビジネスモデル開発を支援する事業
② CSVによる社会課題解決を進めるために必要な政策提言を行う事業
③ CSVに関わる調査研究事業
④ CSVに関わるコンサルティング事業
⑤ CSVに関わる受託事業
⑥ CSVによる解決を必要とする社会課題の収集を行う事業
⑦ CSVによる社会課題解決を進めるために必要なネットワークを構築する事業
⑧ CSVによる社会課題解決を進めるために必要な普及、啓発、交流を行う事業
⑨ CSVによる社会解題解決を進めるために必要な情報収集・発信を行う事業
⑩ その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

Copyright CSV Business Development Organization, 2017

年間活動計画

2016年度の当機構の活動は、機構の目的であるCSVビジネスの創造を現実のものとするために、〔１〕全体セッション、〔２〕分科会活動、〔３〕その他活動の3分野で展開します。

[１．全体セッション]

全体を2部構成とし、第1部では、現在進行形の国のビッグプロジェクトについて、そのキーマンをゲストスピーカーとして招聘。その最新動向を　共有し、会員企業のCSVビジネス創造の端緒を探ることを目的として年4回程度の開催を計画します。

また第2部では、第1部のテーマに制限されず、会員企業のCSVに関する取組みやシーズ、課題などについての発表、分科会の進捗報告などのディスカッションの時間として設定します。

○具体的なテーマ設定およびゲストスピーカー候補　（案）

「おもてなし認証制度」サービス業の生産性向上にむけた取組みついて	品質の見える化が難しく、生産性の向上が課題となっているサービス業について、導入が予定されている規格認証制度の考え方や仕組みについて最新情報を共有する。	経済産業省
中小企業ものづくり基盤整備事業について	「地方創生」を現実的なものとするために必要となる地域の中小企業の復興に向け中小企業庁が展開する基盤整備事業についての最新情報を共有する。	中小企業庁
オリパラに向けた科学技術イノベーションの社会実装計画について	2020年の東京大会の運営に向けて、社会実装が計画されている様々な科学技術イノベーションについて、最新動向を共有する。	内閣府大臣官房当該タスクフォース担当審議官
国土強靭化で動き出した最新プロジェクトの紹介	昨年から動き出している国土強靭化・地方の強靭化に向けて、地方自治体・民間企業が連携して動き出した様々なプロジェクトの最新動向を共有する。	レジリエンスジャパン推進協議会
交流文化とインバウンド観光戦略の現在	クールジャパン、ビジットジャパンを中心にインバウンド促進事業が展開されている中、2020年に向けた官民連携の観光戦略について最新情報を共有する。	国土交通省観光庁 日本政府観光局
一億総活躍社会の実現に向けて	一億総活躍社会の実現に向けて、計画されている政策や具体化していく施策について、最新動向を共有する。	内閣府大臣官房当該タスクフォース担当審議官

Copyright CSV Business Development Organization, 2017

年間活動計画

[2. 分科会・ビジネス創造]

CSVビジネス創出のトリガーを掴むことが出来た案件を中心に、希望者を募り、分科会を立ち上げる。

事務局および会員企業各々の活動の中で、CSV開発機構として会員企業を巻き込んだ動きが有効となる場合、関係者協議の上、適宜分科会・ワークショップを立ち上げ、ビジネスの具体化を進めます。

○2016年度期首の具体的な分科会テーマ

りんご産業イノベーションプロジェクト	弘前市の基幹産業であるりんごを産業として見つめなおし、生産・加工・流通・消費のすべての分野でイノベーションを起こす。	主幹 ： 事務局
弘前 CSV モデル事業プロジェクト	CSV大学 in 弘前の第1期の集大成として、弘前の若手経営者とともに、CSV視点で地域産業を活性化する新しいビジネスモデルを具体化する。	主幹 ： 事務局
教育ICT プロジェクト	会員企業・東京書籍が展開する総合教育サイト「Edutown」をプラットフォームとして、キャリア教育・地域資源発掘などに、自治体と企業のCSV連携を狙う。	主幹 ： 東京書籍
和食文化 プロジェクト	世界遺産に認定された日本食のルーツは古来から受け継がれた伝統や文化、日本人として守らなければならないしきたりを後世に受けつないでいく。	主幹 ： 事務局および日本ユニシス
CSVファンド プロジェクト	CSV大学の発展形として、地域活性に資する事業を対象としたファンドの組成、運用を検討し、CSVファンドとして導入を具体化する。	主幹 ： 事務局およびFVC
海の森 プロジェクト	東京湾のゴミの埋め立て地（夢の島）を活用した海上公園の新しい形での運営方法について、CSV開発機構および会員企業群として提案・実現していく。	主幹 ： 事務局および乃村工藝社
東松島まちづくりプロジェクト	地震・津波により壊滅的な被害を受けた東松島市のまちづくりを行政と企業との連携で行い、包括的な地域ビジョンに基づきトータルプロデュースを行う。	主幹 ： 事務局および住友林業
川内村プロジェクト	原発事故による全村避難からの復興を目指す福島県川内村に工場を設立した会員企業コドモエナジーを中核に復興のシンボルとなるようなCSV連携を具体化する	主幹 ： 事務局およびコドモエナジー

[3. その他の活動]

機構の安定的な運営に寄与するため、機構の認知度向上、社会的地位の向上を目指した活動を事務局主導で展開します。

○広報・啓発関連
○事業開発関連－シーズ先導型
○事業開発関連－省庁・自治体連携型

Copyright CSV Business Development Organization, 2017

CSV開発機構　2016年度　主要活動状況

2016年

04月	[講演]	千葉商科大学・人間社会学部（赤池理事長・水上副理事長）（24日）
	[機構運営]	理事会（26日）
05月	[講演]	大東文化大学「キャリア形成」（小寺専務理事）（17日）
	[機構運営]	定時社員総会及び理事会（20日）
	[セッション]	第1回　全体セッション「サービス生産性向上に向けた取組み」（20日）
	[産学連携]	大東文化大学「事業プレゼンテーション」審査員（小寺専務理事）（28日）
06月	[講演]	日経BPスペシャル対談「地域と企業の新しい関係」（赤池理事長）（1日）
	[セッション]	CSVスペシャルガイダンスセミナー@KYOTO（7日）
	[産学連携]	赤池理事長・千葉商科大学人間社会学部特命教授就任　（15日）
	[官民連携]	経済産業省　おもてなし規格認証・事業者ヒアリング対応（中下旬）
	[講演]	JTB主催「地方創生セミナー」（水上副理事長）（21日）
	[CSV大学]	弘前「白神めぐみ寿司」お披露目会（東京）（30日）
07月	[CSV大学]	弘前「白神めぐみ寿司」お披露目会（弘前）（4日）
	[官民連携]	東京都・港湾局　ヒアリング対応　（15日・28日）
	[講演]	日本アパレルファッション産業協会　会員向けセミナー（赤池理事長）（22日）
08月	[講演]	環境教育学会　コメンテーター（小寺専務理事）（7日）
	[セッション]	クレアン・アイシーネット共催「CSVグローバルセッション」（9日）
	[機構運営]	理事会（25日）
	[CSV大学]	弘前　千葉商科大学生によるフィールドインターンシップ（30日~9月1日）
09月	[講演]	企業と社会フォーラム　社会的課題とイノベーティブマーケティング（小寺専務理事）（9日）
	[メディア]	日経BP「新・公民連携最前線」CSVコラム・プロジェクト編①掲載（12日）
10月	[講演]	京都市　スタートアップカレッジ（赤池理事長）（15日）
	[メディア]	日経BP「新・公民連携最前線」CSVコラム・プロジェクト編②掲載（18日）
	[産学連携]	千葉商科大学　冊子「ソーシャる」発刊記念式典　（19日）
	[官民連携]	弘前「りんご産業イノベーションアクションプラン作成支援業務」受託　（21日）
	[官民連携]	経済産業省「おもてなし規格認証・認定機関立上げ等補助事業者」採択（31日）
11月	[機構運営]	理事会（2日）
	[セッション]	第2回全体セッション「金融・投資サイドから見たCSV」（10日）
	[メディア]	日経BP「新・公民連携最前線」CSVコラム・プロジェクト編③掲載（14日）
	[官民連携]	弘前市「りんご産業イノベーション」ステークホルダーヒアリング（28日）

Copyright CSV Business Development Organization, 2017

CSV開発機構　2016年度　主要活動状況

2016年

12月	[メディア]	「まちてん2016」 サポーター団体としてブース出展（9日・10日）
	[官民連携]	京都市 「スタートアップカレッジ」審査員（小寺専務理事）（10日）
	[メディア]	毎日新聞・取材記事掲載（22日）
	[講演]	日経BP主催 「新公民連携最前線－円卓会議」（赤池理事長）（22日）
	[官民連携]	弘前市 「りんご産業イノベーション」 ステークホルダーヒアリング（26日・27日）
	[メディア]	日経BP「新・公民連携最前線」CSVコラム・プロジェクト編④掲載（28日）

2017年

01月	[メディア]	日経BP「新・公民連携最前線」CSVコラム・プロジェクト編⑤掲載（12日）
	[セッション]	第3回　全体セッション 「ビンテージ・ソサエティ実現に向けて」 （30日）
	[官民連携]	経済産業省 「おもてなし規格認証・認定機関」認定（31日）
02月	[官民連携]	静岡市　ヒアリング対応 「CSVによるまちづくり」（3日）
	[官民連携]	弘前市 「りんご産業イノベーション」 中間報告会（8日）
	[機構運営]	理事会（24日）
	[官民連携]	大洗町　ヒアリング対応「CSV大学の開催可能性について」（27日）
03月	[官民連携]	静岡市　開発予定地視察・意見交換会（2日）
	[メディア]	読売新聞・取材記事掲載（12日）
	[官民連携]	弘前市 「りんご産業イノベーション」 報告会（15日）
	[メディア]	日経BP「新・公民連携最前線」CSVコラム・プロジェクト編⑥掲載（16日）
	[セッション]	第4回　全体セッション 「地方創生とCSV」 （17日）

Copyright CSV Business Development Organization, 2017

1年間の活動記録

〔1〕全体セッション

第1回 「サービス業の生産性向上に向けた政策の最新動向」

2016年5月20日／16:00-18:00 ／ノムラスタジオ （乃村工藝社B1F）

講演1

「サービス生産性倍増計画 ～GDP600兆円に向けて」
佐々木 啓介 様（経済産業省 商務情報政策局 サービス政策課長）

ショートプレゼンテーション

「中高生対象ボルネオスタディーツアー・
イヴァン族ホームステイスタディツアーについて」
山藤 旅聞 様 （東京都立両国高等学校 教諭）

第2回 「投資サイドから見たCSV」

2016年11月10日／15:00-18:00 ／ノムラスタジオ （乃村工藝社B1F）

講演1

「責任ある投資の広がりとCSV」
水口 剛 様（高崎経済大学 経済学部教授）

講演2

「「論語と算盤」とCSV ～ これからの資本主義の行方」
澁澤 健 様 （コモンズ投信株式会社 会長）

講演3

「投資家とESG」
松原 稔 様 （株式会社りそな銀行 信託財産運用部
企画・モニタリンググループ グループリーダー）

Copyright CSV Business Development Organization, 2017

1年間の活動記録

〔1〕全体セッション

第3回 「ビンテージ・ソサエティ実現に向けて」

2017年1月30日／15:00-18:00 ／商工会館 6F会議室

講演1

「ビンテージ・ソサエティ実現に向けた政府の取り組みと民間への期待」
前田 康宏 様
（経済産業省 大臣官房審議官 商務情報政策局担当）

会員プレゼンテーション

「新たなワークスタイル・ライフスタイルに関する意識調査へのご協力のお願い」
西村 忠士 様
（日本ユニシス株式会社 公共第二事業部 グループマネージャー）

「大和リースのCSV活動報告」
千田 文二郎 様
（大和リース株式会社 執行役員 環境緑化事業部長）

第4回 「地方創生とCSV －自治体連携の実践」

2017年3月17日／15:00-18:00 ／ノムラスタジオ （乃村工藝社B1F）

講演1

「産学連携による新しい地方創生」
朝比奈 剛 様（千葉商科大学 人間社会学部 学部長）

講演2

「東北インアウトバウンドの具体的な打ち手」
西谷 雷佐 様 （一般社団法人東北インアウトバウンド連合 理事長）

講演3

「りんご産業イノベーションの今後の展開と会員企業への期待」
山本 昇 様 （青森県弘前市 副市長）

講演４

「世界に輝く静岡の実現に向けて」
田辺 信宏 様 （静岡県静岡市 市長）

Copyright CSV Business Development Organization, 2017

1年間の活動記録

〔2〕合同セッション

「CSVグローバルセッション」（CSV開発機構　クレアン　アイ・シーネット共同企画）

2016年7月27日／15：00-18：00 ／ノムラスタジオ（乃村工藝社 B1）

講演1

「Shared Value Leadership Summit 2016と
CSVの最新動向」
水上　武彦
（一般社団法人CSV開発機構 副理事長）

グローバルに展開するCSVの実践報告

「JICAのBOPビジネスに係る企業連携」
前原　充宏 様
（国際協力機構（JICA) 民間連携事業部　次長）

「途上国の社会課題をビジネスチャンスに」
井上　真 様
（アイ・シー・ネット株式会社 グローバルビジネス支援事業部　ﾁｰﾌﾏﾈｰｼﾞｬｰ）

「グローバルCSV新時代へ　－共通言語SDGs の活用－」
笹谷　秀光 様
（株式会社伊藤園 常務執行役員 CSR推進部長）

「日揮の事業活動による社会貢献」
小島　秀蔵 様
（日揮株式会社 プロセス技術本部技術イノベーションセンター 部長代行）

「常石グループのCSV活動　－フィリピン・セブ島での20年の軌跡－」
末松　弥奈子 様
（ツネイシホールディングス株式会社 取締役）

Copyright CSV Business Development Organization, 2017

1年間の活動記録

〔3〕各種プロジェクト

① おもてなし規格認証制度

経済産業省が、サービス業の生産性向上を目的として2017年度からスタートした「おもてなし規格認証」制度において、「認証機関」としての認定を受けました。

経済産業省および認定機関であるサービスデザイン推進協議会とともに、おもてなし規格認証制度の本格的な運用に向けて、詳細化作業を進めています。

また、この制度を活用することで、地域経済の活性化を進めようという地方金融機関、商工会議所等との連携を各地で推進するとともに、会員企業でもあるJTBグループ各社との連携による飲食・宿泊事業者への集中アプローチ等の施策により、2017年度後半からは、本格的な認証活動を展開する予定です。

② 千葉商科大学・人間社会学部 「ソーシャる」制作プロジェクト

千葉商科大学・人間社会学部の1年生が、アクティブ・ラーニングとして、企業のCSVビジネスの実践現場を自ら取材し、冊子化することで、ソーシャル・ビジネスとは何か、その事業例を学ぶプロジェクトを機構としてバックアップしました。

○赤池理事長・水上副理事長による「CSV」概論・特別講義

○取材先企業の紹介・アレンジ

○編集パートナーのアレンジ

Copyright CSV Business Development Organization, 2017

1年間の活動記録

〔3〕各種プロジェクト

③ CSV大学 in 弘前

＜Program 1　白神めぐみ寿司　お披露目会実施＞

昨年度中に、試作メニューの開発、導入飲食店の開発などに着手した「白神めぐみ寿司」事業について、JR東日本の青函ディスティネーションキャンペーンにタイミングを合わせて、お披露目のプロモーションを集中展開しました。

首都圏でのプロモーション展開に向け、JR東日本ホテルズのシェフ・購買担当者を弘前に招き、生産者との意見交換会と食材の買い付けを実施

メディア関係者などを招待して、お披露目会を東京・弘前で開催。

東京：6月30日　ホテルメトロポリタンエドモント

弘前：7月4日　　藤田記念館

JR東日本の青函ディスティネーションキャンペーンに併せ、JR東日本ホテルズ系列の４つのレストランで、「めぐみ寿司」のコンセプトで創作された料理を提供するフェアを実施（7月～8月）。

※2か月間で41,000人を超える方々に料理・酒を提供。

Copyright CSV Business Development Organization, 2017

1年間の活動記録

〔3〕各種プロジェクト

③ CSV大学 in 弘前

＜Program 2　千葉商科大学生によるフィールドインターンシップの実施＞

昨年度、大学生まちづくりコンテストで青森県知事賞を受賞した「愛・ひろさきウェディング」実現のために、という目的もと、地元の住民、企業、行政との交流を通じて、事業計画を策定し、市に対して提案するところまでをプログラムとして実施しました。

＜Program 3 「愛・ひろさきウェディング」事業・トライアル予算獲得＞

フィールドインターンシップを通じて策定した事業計画を元に、地元公益団体の実施するアイディア募集事業に応募。助成事業として採択されました（実施は2017年度）。

Copyright CSV Business Development Organization, 2017

1年間の活動記録

〔3〕各種プロジェクト

④ りんご産業イノベーションアクションプラン作成支援業務（弘前市）

今後数年以内に担い手不足などによる縮小が懸念される弘前市の基幹産業であるりんご農業のあり方を抜本的に見直し、新たな成長産業にするためのアクションプラン策定支援業務を受託。関連するステークホルダーからのヒアリングや、地域外事業者も交えた連携可能性検討会議、アクションプラン検討会議など4回のワークショップを経て、3月までに報告書を取りまとめました。

2017年度以降、具体的なアクションプランの実行に向けて、さらなる連携を図ってまいります。

Copyright CSV Business Development Organization, 2017

1年間の活動記録

〔3〕各種プロジェクト

⑤ 静岡市　CSVまちづくり会議

静岡市が開発を予定している「大谷・小鹿地区」のまちづくり事業について、会員企業13社とともに現地視察と静岡市関係者と意見交換会を実施。地元住民が暮らしやすさを実感し、共感を呼ぶまちづくりに資する内容を議論しました。

〔4〕広報・啓発活動

① まちてん2016　出展

2016年12月9日、10日の二日間、渋谷ヒカリエを会場として開催された「まちてん　2016」に、サポーター団体として出展いたしました。

まちてん machiten
日本のまちに、光をあてろ。

〔会期〕	2016年12月9日（金）・10日（土）
〔場所〕	東京・渋谷ヒカリエ　9F
〔出展者数〕	97社・団体
〔来場者数〕	2,264人

Copyright CSV Business Development Organization, 2017

1年間の活動記録

〔４〕広報・啓発活動

② 日経BP総合研究所レポート「地域と企業の新しい関係」 生き抜くための“三方よし”

2016年8月に発行された日経BP総合研究所レポート「地域と企業の新しい関係　–生き抜くための三方よし-」の中で、赤池理事長が座談会に参加し、CSV大学を中心とした当機構の取り組みについて紹介しました。

③ 新・公民連携　円卓会議 2016「地方創生を本音で徹底議論する」

2016年12月に開催された日経BP社主催の「新・公民連携　円卓会議　2016　–地方創生を本音で徹底議論する–」に赤池理事長が登壇し、ウッドデザイン賞の取り組みなどの事例紹介とともに、地方創生におけるCSVの有効性について紹介しました。

Copyright CSV Business Development Organization, 2017

1年間の活動記録

〔４〕広報・啓発活動

④ 日経BP社　新・公民連携最前線　PPPまちづくり

昨年度に引き続き、日経BP社のウェブマガジン 「新・公民連携最前線　PPPまちづくり」において、「地域を元気にするCSV」というタイトルでコラムを連載させていただいております。

プロジェクト編

＜第1回＞2016年9月

■47都道府県の一番搾り

（キリン）

＜第2回＞2016年10月

■日本橋とやま館

（企画・デザイン・施工＝乃村工藝社）

＜第3回＞2016年11月

■「台風発電を可能とする次世代風力発電サービス」の開発

（日本ユニシス、チャレナジー）

＜第4回＞2016年12月

■舟橋村総合戦略とその実践

（舟橋村＋富山大学・日本能率協会総合研究所ほか）

＜第5回＞2017年1月

■エコカートによる次世代交通対策事業

（輪島商工会議所、ヤマハ発動機）

＜第6回＞2017年3月

■地方創生ファンド

（フューチャーベンチャーキャピタル）

Copyright CSV Business Development Organization, 2017

1年間の活動記録

〔４〕広報・啓発活動

⑤ その他のメディア掲載

2016年12月22日付毎日新聞朝刊にて、取材記事が掲載されました。

この他、3月12日の読売新聞でも取材記事が掲載されました。

広がるCSV 取り組みと傾向

企業と社会 利益共有

「三方良し」のCSV

赤池学 理事長

地方活性化 事業を創造

EVカーシェア お手本

白神めぐみ寿司

食文化 観光の目玉に

電車が作る電力活用

EVカーシェアリング

次世代風力発電

台風銀座で自然エネ

⑥ 主なセミナー・講演　等

大東文化大学「キャリア形成」（小寺専務理事）

FVC主催 「CSVスペシャルガイダンスセミナー@KYOTO」 （赤池理事長・水上副理事長）

JTB主催 「地方創生セミナー」（水上副理事長）

日本アパレルファッション産業協会　会員向けセミナー（赤池理事長）

企業と社会フォーラム　社会的課題とイノベーティブマーケティング（小寺専務理事）

京都市　スタートアップカレッジ（赤池理事長）

Copyright CSV Business Development Organization, 2017